

はじめに	001
CEOメッセージ	002
CSR対談	006
日産のCSR	011
日産独自のCSR推進手法 「日産CSRマネジメントウェイ」	012
日産CSR重点9分野	024
日産CSRスコアカード	027
ステークホルダー エンゲージメント2007	031
<b>事業活動報告・ コーポレートガバナンス</b>	<b>032</b>
2007年度決算概況・ 新中期経営計画「日産GT 2012」	033
コーポレートガバナンス	038
ステークホルダーへの価値の向上	046
お客さまのために	047
株主・投資家の皆さまとともに	055
社員とともに	058
ビジネスパートナーとともに	067
社会とともに	073
地球環境の保全	083
安全への配慮	114
社員一人ひとりが考える サステナビリティ	126
パフォーマンスデータ	132
事業等のリスク	134
第三者意見書	135

Performance and Corporate Governance

## 事業活動報告・ コーポレートガバナンス

長期的な利益ある成長を目指して



はじめに	001
CEOメッセージ	002
CSR対談	006
日産のCSR	011
日産独自のCSR推進手法 「日産CSRマネジメントウェイ」	012
日産CSR重点9分野	024
日産CSRスコアカード	027
ステークホルダー エンゲージメント2007	031
<b>事業活動報告・ コーポレートガバナンス</b>	<b>032</b>
<b>2007年度決算概況・ 新中期経営計画「日産GT 2012」</b>	<b>033</b>
コーポレートガバナンス	038
ステークホルダーへの価値の向上	046
お客さまのために	047
株主・投資家の皆さまとともに	055
社員とともに	058
ビジネスパートナーとともに	067
社会とともに	073
地球環境の保全	083
安全への配慮	114
社員一人ひとりが考える サステナビリティ	126
パフォーマンスデータ	132
事業等のリスク	134
第三者意見書	135

## 2007年度決算概況・ 新中期経営計画「日産GT 2012」

### 成長と信頼を軸に目指す3つのコミットメント

#### 2007年度 決算概況

日本、米国の全体需要が落ち込む中で、日産の2007年度のグローバル販売台数は377万台に達し、前年から8.2%伸びました。2007年度はグローバルで11車種の新型車を投入しました。

日本では全体需要が5.3%減となり、日産の販売台数は前年比2.5%減の72万1,000台、市場占有率は13.6%に増加しました。米国の全体需要は前年から3.5%減少する一方で、日産は105万9,000台と前年から3%増加し、市場占有率は6.7%に達し、過去最高を記録しました。欧州の販売台数は前年比17.9%増の63万6,000台となり、市場占有率は2.9%に増加しました。一般海外市場の販売台数は、前年比22%増の106万1,000台に達しました。中東の販売台数は前年比36%増の19万8,000台を記録し、一方、中国の販売台数は全体需要が前年比22%増加する中で、同26%増の45万8,000台となりました。

#### ■ 2007年度 財務実績(億円)

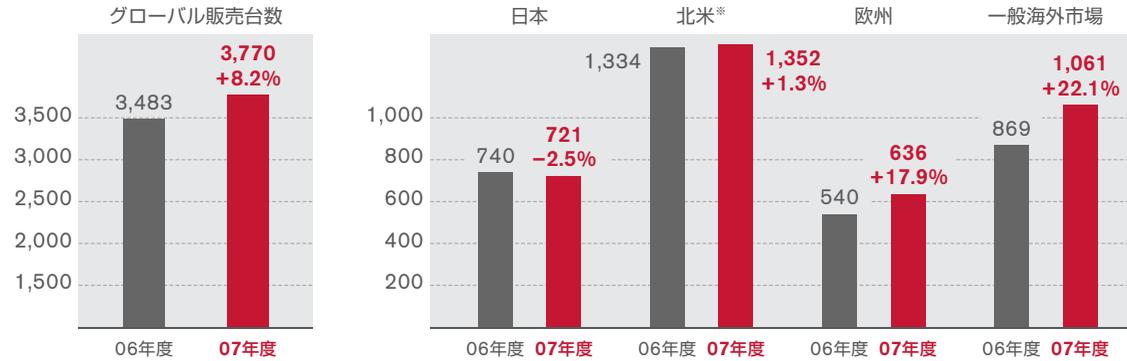
	2006年度	2007年度	差異
連結売上高	97,010	108,242	+11.6%
連結営業利益	7,555	7,908	+4.7%
連結売上高営業利益率	7.8%	7.3%	-0.5ポイント
営業外損益	-129	-244	-
経常利益	7,426	7,664	+3.2%
特別損益	-608	+16	-
当期純利益	4,492	4,823	+7.4%
設備投資	5,090	4,289	-
研究開発費	4,648	4,575	-
減価償却費	3,561	3,709	-
実質手許資金(自動車事業)	2,547	1,803	-

2007年度 為替レート ¥114.4/\$  
¥161.6/€



- はじめに 001
- CEOメッセージ 002
- CSR対談 006
- 日産のCSR 011
  - 日産独自のCSR推進手法「日産CSRマネジメントウェイ」 012
  - 日産CSR重点9分野 024
  - 日産CSRスコアカード 027
  - ステークホルダーエンゲージメント2007 031
- 事業活動報告・コーポレートガバナンス 032**
  - 2007年度決算概況・新中期経営計画「日産GT 2012」 033**
  - コーポレートガバナンス 038
  - ステークホルダーへの価値の向上 046
    - お客さまのために 047
    - 株主・投資家の皆さまとともに 055
    - 社員とともに 058
    - ビジネスパートナーとともに 067
    - 社会とともに 073
  - 地球環境の保全 083
  - 安全への配慮 114
  - 社員一人ひとりが考えるサステナビリティ 126
  - パフォーマンスデータ 132
  - 事業等のリスク 134
  - 第三者意見書 135

■ 2007年度 販売状況(千台)



※カナダ、メキシコを含む

2007年度の業績を前年度と比較するにあたり、2006年度に実施した、主に欧州やメキシコなどの海外子会社の会計期間を統一したことにともなう一時的な第5四半期の影響を2006年度実績から除いています。

2007年度の連結売上高は10兆8,242億円となり、前年から11.6%増大しました。連結営業利益は7,908億円となり、2006年度の7,555億円に対し、4.7%上回りました。売上高営業利益率は7.3%、当期純利益は4,823億円となり、2006年度の4,492億円から7.4%増加しました。

はじめに	001
CEOメッセージ	002
CSR対談	006
日産のCSR	011
日産独自のCSR推進手法 「日産CSRマネジメントウェイ」	012
日産CSR重点9分野	024
日産CSRスコアカード	027
ステークホルダー エンゲージメント2007	031
<b>事業活動報告・ コーポレートガバナンス</b>	<b>032</b>
<b>2007年度決算概況・ 新中期経営計画「日産GT 2012」</b>	<b>033</b>
コーポレートガバナンス	038
ステークホルダーへの価値の向上	046
お客さまのために	047
株主・投資家の皆さまとともに	055
社員とともに	058
ビジネスパートナーとともに	067
社会とともに	073
地球環境の保全	083
安全への配慮	114
社員一人ひとりが考える サステナビリティ	126
パフォーマンスデータ	132
事業等のリスク	134
第三者意見書	135

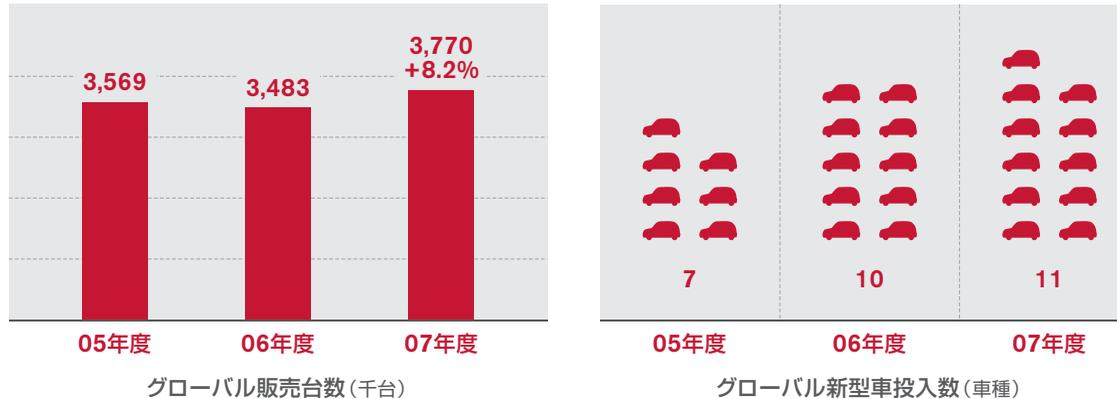
## 「日産バリューアップ」の進捗状況

日産の中期経営計画である「日産バリューアップ」には、3つのキー・コミットメントがあります。

1. 2005年度から2007年度にかけ、グローバル自動車業界の中でトップレベルの売上高営業利益率を維持する
2. 2008年度に販売台数420万台を達成する
3. 3年間平均で投下資本利益率20%を確保する

また、「日産バリューアップ」では4つの主要なブレークスルーを目指しています。

1. インフィニティを世界で名立たるラグジュアリー・ブランドにする
2. 小型商用車(LCV)のプレゼンスをグローバルに強化する
3. リーディング・コンペティティブ・カントリー(競争力のある国々)からの部品、機械、設備、ベンダー・ツーリング(取引先の型、治工具)、サービスの新たな調達ソースを確立する
4. 新興国での新しい生産設備、流通網、販売金融会社を整備することで地理的拡大を強化する



「日産バリューアップ」の1つ目のコミットメントは、グローバル自動車業界トップレベルの営業利益率の達成でした。実績は当初の期待には届かなかったものの、引き続き業界最高水準の収益性を確保しています。2つ目のコミットメントはグローバル販売台数420万台の達成でしたが、2007年に発表したとおり、達成時期を2009年度末に延期し、次期経営計画の通過点における指標のひとつとしました。3つ目の投下資本利益率(ROIC)\*は17%にとどまり、3年間平均で20%以上を達成するというコミットメントには届かなかったものの、グローバル自動車業界トップレベルの数字を維持しました。

$$*ROIC(自動車事業) = \frac{\text{連結営業利益}}{\text{(固定資産+運転資金)}}$$



はじめに	001
CEOメッセージ	002
CSR対談	006
日産のCSR	011
日産独自のCSR推進手法 「日産CSRマネジメントウェイ」	012
日産CSR重点9分野	024
日産CSRスコアカード	027
ステークホルダー エンゲージメント2007	031
<b>事業活動報告・ コーポレートガバナンス</b>	<b>032</b>
<b>2007年度決算概況・ 新中期経営計画「日産GT 2012」</b>	<b>033</b>
コーポレートガバナンス	038
ステークホルダーへの価値の向上	046
お客さまのために	047
株主・投資家の皆さまとともに	055
社員とともに	058
ビジネスパートナーとともに	067
社会とともに	073
地球環境の保全	083
安全への配慮	114
社員一人ひとりが考える サステナビリティ	126
パフォーマンスデータ	132
事業等のリスク	134
第三者意見書	135

## 新中期経営計画「日産GT 2012」

日産が2008年4月1日から2013年3月31日まで実施する新たな5ヵ年経営計画「日産GT 2012」は、成長（Growth）と信頼（Trust）を主眼としています。すべてのステークホルダーの信頼とともに、長期的な成長を目指すことに焦点を当てています。

「日産GT 2012」には、3つのコミットメント、そしてそれらを支える5つのブレークスルーが含まれます。

## 3つのコミットメント

## 1. 品質領域でリーダーになる

商品品質に注力するとともに、サービスの質、ブランドの質、およびマネジメントの質における改善への取り組みを加速する。

## 2. ゼロ・エミッション車でリーダーになる

日産は、2010年度に米国および日本に電気自動車を投入し、2012年度にはグローバルに量産する予定である。

## 3. 2008年度から2012年度の5年間で売上高を平均5%増大させる

売上高の増加を支える商品投入計画では、2012年度までに60の新型車の発売を予定している。また、2009年度から毎年15以上の新技術を投入する予定である。

上記3つのコミットメントは、以下の5つのブレークスルーによって支えられます。

- ・品質領域でリーダーになる
- ・ゼロ・エミッション車でリーダーになる
- ・事業の拡大：インフィニティ、小型商用車（LCV）、および新規投入するグローバル・エントリー・カー
- ・市場の拡大：インド、中東、ブラジル、ロシア、および中国
- ・コスト領域におけるリーダーになる

「日産GT 2012」は、日産が持続可能なモビリティ社会の実現において、主要な役割を果たすという決意を示すものです。また、グローバルな市場の拡大と地球環境の保護は、バランスをとっていくことが求められています。日産は、ゼロ・エミッションのクルマを手ごろな価格で量販することこそが、自動車メーカーとして実行できるもっとも重要な取り組みであると確信し、ルノーとともにゼロ・エミッション車におけるリーダーとなることを目指していきます。



NISSAN GT 2012

はじめに	001
CEOメッセージ	002
CSR対談	006
日産のCSR	011
日産独自のCSR推進手法 「日産CSRマネジメントウェイ」	012
日産CSR重点9分野	024
日産CSRスコアカード	027
ステークホルダー エンゲージメント2007	031
<b>事業活動報告・ コーポレートガバナンス</b>	<b>032</b>
<b>2007年度決算概況・ 新中期経営計画「日産GT 2012」</b>	<b>033</b>
コーポレートガバナンス	038
ステークホルダーへの価値の向上	046
お客さまのために	047
株主・投資家の皆さまとともに	055
社員とともに	058
ビジネスパートナーとともに	067
社会とともに	073
地球環境の保全	083
安全への配慮	114
社員一人ひとりが考える サステナビリティ	126
パフォーマンスデータ	132
事業等のリスク	134
第三者意見書	135

■ 5つのブレークスルー

